

告 辞

本日ここに、ご来賓、保護者の皆様のご臨席をいただきまして、平成24年度三重短期大学入学式を挙行するにあたり、本学の設置者としてご挨拶申し上げます。

新たに三重短期大学の学生としてお迎えをいたしました320人の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、本日ご臨席いただいておりますご家族の皆様方にとりましても、感慨ひとしおのことと心よりお喜びを申し上げます。

さて、皆さんは、これからの2年間、東福寺一郎学長をはじめ諸先生方の指導のもと、勉学に励まれ、高度な専門知識を身につけられるとともに、教養をより一層高めたいと思います。

また、皆さんの中には、勤務のかたわら勉学に励まれる方もお見えになります。その高い志をいつまでも忘れることなく、仕事と勉学を両立させてください。

今、大学に求められるものは何か、それは、政治や経済・地域社会や家庭などさまざまな場面で、主体的に活動の出来る人材の育成ではないかと考えます。今後皆さんが実社会において、さまざまな問題に出会うなかで、自ら考え、人々と議論し、問題を客観的にとらえ、解決方法を模索する力をここで培っていただきたいと思います。

皆さんは、限りない可能性を持っておられます。この限りない可能性を無駄にすることなく勉学に励み、キャンパスライフを謳歌してください。

これから皆さんは、勉学に励まれるだけでなく、学校行事やクラブ活動にも積極的に参加され、かけがえのない数多くの経験をされることでしょう。そして、その中で感じられた様々な喜びや悩み、培われる友情は、学生生活をより豊かに彩り、人格的にも社会的にも大きく成長させてくれることでしょう。

さて、本学は昭和27年開学以来、本年で創立60周年を迎えることとなります。

津市はこの60年間、優れた人材の育成はもとより、地域の文化の向上と豊かな地域社会の実現に寄与する人材の輩出を期待して、この大学の設置者としての責務を果

たしてまいりました。

おかげさまで、約17,000人の卒業生は、その思いに応え、政治や行政、産業界をはじめ多方面で活躍をされており、津市長としてとても嬉しく、また、誇らしく思っております。

皆さんも、柔軟性に富んだ思考力を養い、時代の流れに対応できる力を身につけていただき、そして、その中で大切な視点は何かを自ら考え、自分の価値を一層高めるよう、常に自己研鑽に努め、津市が願う立派な人材となっただくことを強く祈念いたしまして、私の告辞といたします。

平成24年4月9日

津市長 前葉 泰幸